

Rotary

国際ロータリー
第2670地区美馬
ロータリー
クラブ 週報美馬
ロータリークラブ
ウェブサイト<http://www.mimarotaryclub.com>

2021-2022 年度 第33回 例会プログラム

- 例会場 サンコーカルチャーセンター
- 開会点鐘 19時
- 四つのテスト/我らの生業
- 会長の時間/幹事報告/委員会報告/卓話

出席報告

会員数	出席者数	うちリモート出席	うちメーキャップ	出席率
25	19	(2)	(0)	76%

会長の時間

廣澤誠治 (Seiji Hirose)



皆さんこんばんは。私の会長の時間も、あと残り僅かとなりました。もうひと頑張りいたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今日は久しぶりに西谷さんのやっている悠遊大学に行って身体を動かしてきました。運動をする前にまず血圧を測って、また帰るときも測るのですが、最初に測ったら145とちょっと高いのです。1時間余り身体を動かしますと110くらいになっていました。やはり運動というのはすごいなと感じました。これからも続けて運動に行こうと思っております。

また最近、協町図書館によく通っているのですが、徳島県人関係のブースがあり、そこで見つけた願成寺住職の大西智城さんの本「許すための試み」をご

紹介します。

人は裏切られれば腹が立ちます。「そんなやつとは思わなかった」「お前だけは信じていたのに」「あれ程してやったのに、恩を仇で返しやがって」などと、ついつい声を荒げてしまいます。

この裏切りに関しては、大きな一つの法則があることを知っていますか。それは「裏切りについての腹立ちは、全て自分の責任と思込みである」ということです。約束を守らないと腹を立てる。しかし、約束を守れない人と見抜けずに約束をしてしまったのは、紛れもなく自分であるということです。今、付き合っている彼女は、決して浮気はしない、と思っているのは自分であるということです。この場合は「思いたい」でしょうか。

自分の作り上げた虚像を、相手に当てはめ、思い通りにならなかった時、裏切りという言葉で非難します。しかし、この虚像は、あなたが作り上げたものに他ならないのです。しかし、裏切りはいけませんよ。もしそうなった場合、許すということが大切です。感情が先走り、なかなかそうは思えないのが普通ですが、やはり許す心を持つことは大切です。憎しみからは憎しみしか生まれてこないのです。自分に降りかかってくる出来事は、全て自分にあり、



SERVICE TO CHANGE LIVES

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

次回
5月24日
の例会★サンコーカルチャー
★19時開始
★卓話 澤田篤也会員

全て自分に責任があるとは思いません。

そこで、私はこんなふうに「許す」ことを試みています。許せないとは本来、自分の許容範囲を超えてしまったから起きる現象で、許容範囲であれば腹立たしく思っても我慢することができます。この許容範囲を度量とか包容力という言葉で表し、人間の器の大きさを表現するときに使われます。この人の器を測れるのは、腹立ちや裏切り出会った時だけなのです。普通に生活をしていれば、許容範囲を超えてしまいそうな出来事はそれほど頻繁に訪れることはないと思います。もし不幸にして訪れたなら、ここで発想の転換。これぞ「千載一遇のチャンス」と思い許せるか許せないか、自分の度量を調べてみることにするわけです。このように考えることができるようになっただけでも、人間の器は着実に大きくなっていると言えます。しかし、どうしても許せなかったら、自分の度量は小さいと素直に認めて腹を立てれば良いと思います。包容力がないことも認めてです。いずれにせよ、「許す」ということをしなければならぬこと自体、大変不愉快な思いと苦痛を伴います。大切なことは約束を守り、人を裏切らないということです。

幹事報告 森廣一 幹事



- ✓ 到着週報は、鴨島、脇町 RC です。
- ✓ 源流の会の関係で、規定審議会の結果についてコメントの記事を回覧します。

委員会報告

廣川公利親睦委員長より家庭集会について



- ✓ 家庭集会を開きたいと考えております。新型コロナウイルス感染症の美馬市の状況が増えた場合には再考する可能性はありますが、現在の感染者数は3人とか多くても10人という形で推移しておりますので、今年度の初めての家庭集会を5月31日の火曜日に行いたいと思います。
- ✓ テーマは「会員増強」と「ロータリー活動の改善」です。より良き方向へ、変えるべきものは積極的に変えていき、100年前と同じことを繰り返すだけでは硬直化して化石のような存在になることは世界中のロータリークラブが望むところではありません。フレキシブルなクラブにするために、皆さん本当にしっかりと、楽しく議論をしていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。多数のご参加いただけますようお願いします。

卓話 伊庭雅俊 会員

私はちょうど今年で40歳になりまして、ロータリーの中では少し若い世代が考える社会奉仕についてお話ししたいと思います。

自分が学生の頃や小学生の頃、自分の親がやっていた頃の社会奉仕とは今は何か全然違うと感じて



SERVICE TO CHANGE LIVES

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



美馬ロータリー
クラブ週報

います。社会的には少子高齢化やコロナ禍などで、人と人との接触は益々少なくなり、昔は色々な集まり事に地域の人が大勢集い、様々なことを地域全体で盛り上げて、どんどんやっていた印象があります。今はそういう事がかなり減ってきたと思う状況の中でロータリーに入らせて頂きました。



会社で仕事をする中で、人のために少しでも何かできたらという想いで、ロータリーに入らせて頂きましたが、今はなかなか出席できずに大変申し訳なく思っています。そんな中、何をしたら社会奉仕につながるのかという事を、例会がある中で考えていますが、なかなか答えは出て来ません。

一つは、やはり人のために何かを考えることから始まると思っています。考えたことがその人のためになり、一人のために何か考えると、その人のために一つのことができる可能性が出てくると思います。その輪が広がれば、大きな規模になっていく。

自分には今何ができるか考える中で、会社の中では従業員のことを考え、仕事を通して様々なことを考えるのも一つの社会奉仕だと思いますし、子供のスポーツ活動でソフトボールを二人の娘がやっているのですが、そのお手伝いすることも、もう一つの社会奉仕だと考えています。

今は SNS などが普及したことで、奉仕をやるのが恥ずかしいという気持ちが生まれています。大人になってからも、何かをやるのが恥ずかしい、何かしたら他人に言われてしまうんじゃないかと考えてしまい、良いことをしようと思っても、何か

やりにくい社会になったように思います。

スポーツにしても、新聞紙上で指導者の厳しい指導が一部切り抜かれて批判される事例もたくさんあると思います。そういう風潮が、今の世の中では、人の為に何かをしようとしてやったことが逆に災いの元になってしまうのではないかと凄く感じてしまい、なかなか前に踏み出せない人がたくさん居ると思うのです。自分にもそういう感覚があります。何も間違っていないことなのに、したら何か言われるんじゃないだろうかと思って行動しなかったりすることがあります。

それでも、私は大きなことは出来ませんが、小さいことから人の役に立つことを今後は続けて、今は少し難しいですが、ロータリーの中でもできるように頑張っていきたいと思います。(スピーチより抜粋)

スマイルボックス

澤田篤也会員

誕生日のお祝いありがとうございました。

有志一同 9名

誕生日を祝う同好会の会費から寄付いたしました
(澤田、田村、廣澤、谷、廣川、西谷、松浦、美馬、森)

Zoom 出席者 (2名)

西谷明彦会員、東谷尚登会員

欠席者 (6名)

重田勝博会員、辻貴博会員、戸島健治会員
林秀樹会員、三好亘会員、山内浩司会員

例会は Zoom リモート参加が可能です

※例会日 18 時 50 分より入室可能

ミーティング ID 982 5802 0593

パスコード mimarc



SERVICE TO CHANGE LIVES

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



美馬ロータリー
クラブ週報